

学校 教育 目標	「わたしも大事 あなたも大事 だれもが主役 みんなでつろう神橋小学校！」 学び合い 高め合い 【知】【体】 つながりあい 【公】【徳】 未来を切り開いていく子ども達 【開】				
	創立 137 周年	学校長 判治 珠美	副校長 角野 義宏	2 学期制	一般学級：18 個別支援学級：3
学校 概要	児童生徒数： 548 人 主な関係校： 神大寺小学校・斎藤分小学校・中丸小学校・六角橋中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	六角橋中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的・対話的な学び合いを通して身につける、生きて働く(活用できる)知識</li> <li>○自己肯定感・自己有用感とともに多様性を認め合う豊かな心</li> <li>○体験・ふれあいを通して育む豊かな感性と、協働的に学ぶ姿勢。</li> </ul>	六角橋中学校 神大寺小学校 中丸小学校 斎藤分小学校	<p>夢や希望、目標をもてる子どもを育成する。</p> <p>①コミュニケーション能力 ②地域貢献・社会参画 ③自己肯定感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分づくり教育」を教科横断的に実施</li> <li>・合同授業研究会を年間2回実施</li> <li>・人権教育推進協議会などの合同の研修会を実施</li> <li>・学業地連などの児童生徒指導に関わる事業を実施</li> <li>・児童生徒交流会などの小中連携事業を実施</li> </ul>

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎子ども達一人ひとりを大切にしながら、「ふれ合い・学び合い・高め合い」を大切に、まちとともに歩む学校にする。</li> <li>◎主体的・対話的で深い学びを具現化するため、確かな言語能力を身に付け、自分の考えをもつ力、相手の思いを受け止める力、対話により自分の考えを深化させる力などを育み、生きて働く知識を向上させる。</li> <li>◎インクルーシブ教育の視点で、一人ひとりが自己肯定感、自己有用感をもつとともに、学習の楽しさを実感できる授業を推進する。</li> <li>◎互いの違い、多様性を認め合い、誰もが安心して楽しい学校生活が送れるように、人権教育、特別支援教育の充実を図る。</li> <li>◎ふれあい活動を充実させるとともに、まちの人とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、人やまちを愛する心を育てる。</li> </ul>
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①教育課程全体で育成を目指す資質・能力の意識をした具体的な授業づくりをめざす。そのために、各学年のつながりを重視するために、研究会の進め方を工夫する。②昨年度と同じ教科の研究のため、今まで使用していた教材や学習プリントを活用し、さらにICTを活用した方法を見つけていく。
担当 学習・ICT部	
徳 豊かな心	①外部講師を招いた研修を計画し、職員の人権意識を高めていけるようにする。②互いの違い、多様性を認め合ったり、自己肯定感・自己有用感を高めたりし、誰もが安心できる学校経営・学級経営ができるような力を育成する。
担当 児童指導・インクルーシブ部、道徳部	
体 健やかな体	昨年度に引き続き、①日々の体育学習の充実を図り、運動を楽しみ、運動に親しむ子の育成を図る。②児童委員会活動を通して、食育や保健教育、体力づくりの充実を図る。
担当 保健・安全部	
公開 協働的な学び	①地域で体験的に学ぶ機会を多く設ける。校内のボランティアや材一覧を活用し、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら、一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。②アンケートや自分作りパスポートを利用して、自分自身についての変容や成長を自覚し、友達とも共有するなど他者理解に努める。
担当 生活・総合部、重点研推進部	
いじめへの対応	①学校いじめ防止基本方針に基づき、年3回以上のアンケートや全員面談を確実に実施し、児童の状況把握を行い、些細な変化も見逃さない体制づくりをする。②隔週の学年主任会を定期いじめ防止対策委員会と兼用し、組織的対応力を常に高めておく。③基本方針に基づき、保護者・関係機関との連携を推進する。
担当 児童指導・インクルーシブ部	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①昨年度に続き、5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって人材育成のための校内研修を行っていく。②教務会及び学年主任会の前に、予めミドルリーダー等の意見を吸い上げる機会を積極的に設け、ミドルリーダー等が全体を通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
担当 教務部、メンターチーム働き方改革推進部	
特別支援教育	①適切な特別支援教育を行うために、関係機関との連携や研修を実施していく。②チャレンジルームで個に合わせた指導を充実させ、個の特性を生かした学級経営を図る。③教室、言語環境等においてユニバーサルデザイン教育を理解し、学校全体の環境整備にあたる。
担当 児童指導・インクルーシブ部	
児童生徒指導	①「かみはしルール」を家庭・学校が共有し、指導・支援を行うとともに、子ども達の考えも取り入れた見直しも、代表委員会との連携の中で図っていく。②教科担任、交換授業を全学年で実施し、学年児童全員に関わりながら指導にあたる。③打ち合わせ・職員会議・校内委員会にて、情報交換を適時行い、共通した指導・支援にあたる。
担当 児童指導・インクルーシブ部	
安全教育	①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練を毎月実施し、自分の命や安全を、自ら守るための知識や判断力が身につくような指導を充実させる。②交通安全教室、高学年の着衣泳体験、校外学習での歩き方指導など、様々な機会をとらえて、児童が安全に生活できるよう指導していく。
担当 保健・安全部	
地域学校協働活動	六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を公開する。②地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的な学習を充実させるとともに、多くの人とのふれあいを通し、まちや人に親しみをもつことができるようにする。
担当 教務部	